

2020(令和2)年度第12期活動報告書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

特定非営利活動法人 故郷まちづくりナイン・タウン

I. 事業の成果および活動概要

法人設立から12年目となった本年度は、新型コロナウイルス感染症の対策が強烈に影響し、活動自粛や新しい生活様式への対応などに明け暮れる日々のなか、計画した事業の殆どを中止せざるを得ない状況になった。

特に、石森いろいろ市場や各種ワークショップの開催拠点である「カフェたばごや」については、3月から4月、5月と「手作り市」の中止、各種ワークショップも中止となり、飲食店への自粛傾向やクラスターによる石森章太郎ふるさと記念館の休館日も増えたため、来店客が著しく減少し売り上げの無い日々が続くなど厳しい経営が続き先行きが見えないことから、5月末日をもってやむなく閉店を決断することとなった。

年度当初の3か月間は収入が殆どなくなったが、日本NPOセンターの緊急助成と政府の雇用維持助成金の給付により、なんとか業務を進めることができたものの、事業中止と縮小、先行き不安により5名中2名を解雇せざるを得ない厳しいスタートとなった。

7月になって宮城県の被災者支援事業である「心の復興事業」と「絆力を活かした復興支援事業」の採択をいただき継続実施に尽力した。

そのなかで、当初の拠点施設に変わる新たな交流施設として、空き店舗をボランティアの協力で改修した「なかまち屋」を開店し、被災者の手づくり品展示販売や小人数のワークショップを開催するなど復興支援活動が継続できたことは、経験に加えて工夫と努力が活かされたものと評価できる。

更に「紙SNSかわす」発行事業は、計画以上の発行に加え、配布エリアの拡張に伴って読者の増加、掲載者や寄稿・投稿共に増加しており、読者アンケートによって多くの方が楽しんでいることがうかがえる。特に連載している方々への好感度が高く、絵手紙に加えて川柳の愛好者からの投稿も増加するなど延べ50名以上の掲載者が生まれており誌面に賑わいをもたらしており、目的でもある被災者同士の交流が進んでいることに貢献していることに他ならない。

配布については多くの協賛者のご協力をいただいております、広告募集、記事候補者の紹介から投稿情報も寄せられて、まさに絆力に支えられていることを感謝申し上げます。

今年度はWEBサイトの活用を図るため「かわすオンラインショップ」を開設し、商品掲載、販売サイトとして年度末にはなったものの環境を整えることができたことは大きな進展と評価できる。

さらに公益財団法人パブリックリソース財団の基金活用によって取り組んできたスマホアプリ「かわすフォト」開発については、iOS専用アプリとして年度末に完成したため利用者を増やしたい。

今年度は、事務所のある仲町行政区から「排水溝清掃業務」を依頼いただき、従来から自主防災活動支援や地域づくり事業での連携があったからこそ、自主防災の一環として受託できた。

星空観察会は各種団体からの開催依頼なども継続しておりコロナ対策を強化することで継続できているが、行政との連携による環境改善活動のほか各種地域行事は悉くコロナで中止となった。

学校や地域連携では、石森地域活性化事業実行委員会や石森っ子サポーターズ、石森小学校学校運営協議会などの各種団体に参加し、協力して環境改善活動や清掃活動、授業補助を進めてきた。

一方で収益構造が作れず、自主財源の強化ができずに赤字決算になったことは大いに反省すべき点であり、早急に改善して財務の健全化を図らなければならない。

そのための方策として会員増強策の改善とスタッフのスキルやつながりを活かした収益性の高い事業へのシフトが重要課題だと考えて取り組んだが、コロナ対策もあって望んだ成果は得られていない。

これは新年度で事業推進の根幹にかかわることであり、最優先で取り組む。

【活動分類ごとの概略】（各事業実施の際にはコロナ対策を徹底しております）

1) 特定非営利活動にかかる事業

(1) 人づくり事業

事業項目	実施内容	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
① 地域づくり人材育成プロジェクト(以下 Prと表記)	紙SNS-KAWASによる交流の活発化は、継続的に行われており、さらなる連携が進んでおり、誌面による交流は広範囲にわたっている。対象人口は40万人を越えており、多様な人材とつながりづくりができてきた。 具体的には気仙沼市の自主防災活動に従事する一般社団法人スタッフとの事業連携や登米市内の山間部を中心に11名の任意グループを設置して地域づくりを学び実践しはじめた中で当法人スタッフが講師として参加している。(2回、18名) また、栗原市の地域おこし協力隊との連携で商店街の空き家対策や起業支援に取り組む際にも情報交換やアドバイスなどの協力関係を作るなど、地域づくりに関わりを深めている。	宮城県北部、岩手県南部地域 推定読者14万人	400
② 若手後継者育成 Pr	高校生ボランティアの育成 (年間12回計画したがコロナにより1回、6名の開催に留まった) 次期リーダー育成も事業の混乱により実施できなかった。	計6名参加	50
③ 地域防災 Pr	地元の仲町行政区との共催で「自主防災訓練」を実施。 自主防災組織の会議、訓練、延べ4回予定したが、コロナ禍により、参考資料を作成して全戸配布するにとどまった。	登米市内 86人参加	200
④ 環境教育 Pr	現代の過剰な消費生活の影響による地球の自然環境問題について、小学生の時期に実地で学び、体験することで人間と環境のかかわりや、豊かな自然の価値を学び、地球にやさしい日常生活のありかたに気づくことを目的に実施した。 運営は当 NPO スタッフと小学生、教員の他、一般市民ボランティアや登米市環境市民会議の会員も参加し、行政との協働で実施。 水辺の生き物等調査から水質改善の実践 3回	登米市内の小学校及び周辺地域 延べ80人	100
⑤ 星空教育 Pr	1) 星空を観察し、宇宙現象や彗星、惑星、衛星などの基礎知識を知り、地元で見える満天の星空の素晴らしさを体感すると共に、豊かな自然に恵まれていることに気づくことを目的に開催した。 親子参加で、家庭内でも地域の自然環境について意識を高めるきっかけとなり、開催依頼も増加し主催者の満足度も高くなっている。 主催1回3名 派遣依頼 4回 80名 計5回83名 2) 連携事業 南三陸ホテル観洋、玉造荘の主催イベントに講師として派遣 年間7回 180名	計12回 延べ263人参加	600
⑥ 石森コミュニティスクール	1) 石森っ子サポーターズ事務局として活動。 ◆学習田の田植え、稲刈り・脱穀・もみすり作業等の調整、作業参加、運営支援。(事前調整・運営管理・ボランティアとりまとめなど) ◆校庭の草刈支援(地域住民と共に年間2回、他に随時実施) 事業実施。(入学式等の学校行事はコロナで不参加)延べ19回	中田町石森小学校区 延べ176名参加	10

(2) 場づくり事業

事業項目	実施内容	受益対象者の 範囲及び人数	事業費 (千円)
①コミュニティ カフェたば ごやPr	コロナ禍で年度当初より、来客無しの日が続き、ワークショップや手 創り市の開催もできないため、5月31日を最終日として閉店とし、6月 は店内の片付け、移動を行い6月末で登米市からの借用を終了した。		900
②手創り市 の開催によ る地域価値 向上	毎月1回開催していたが、3月からコロナにより中止が続き、何度か 再開を計画して、募集を呼び掛けたが、出店者不足や周囲の声によ って急遽中止としてからは、コロナ対策をしても風評の改善が進まず 再開はできていない。		100
③地域住民 交流事業	1) 高校生ボランティアによる地域活動 手創り市などのイベントにあわせて計画したが、全て中止となった。 2) 石森落語二人会 大阪から若手の上方落語家を毎回2名招聘して実施していた が、コロナで中止。		10
④石森地域 活性化事業 実行委員会 Pr	登米市中田町石森地区の活性化をめざし、2014年に開設。 地域住民と共にまちづくりプログラムの企画や運用に取り組む。 石森地域の各種課題解決のために、連携していたが、今年度は関係 する事業が軒並み中止となり、自主開催も行わなかった、		10
⑤地域事業 支援活動	1) 登米市主催事業、産業フェスティバルへのブース出展(中止) 2) 東日本大震災被災者支援 ◆手づくりランチ(甘酒づくり)交流会開催 1回延べ18名	登米市・南三 陸町住民 18人	100

(3) 地域経済づくり事業

事業項目	実施内容	受益対象者の 範囲及び人数	事業費 (千円)
①SATTOY AMAマッ チング事業	1. 空き家の活用による起業、創業支援 町家ナカマチをビジネスマッチングのインキュベーション施設として 活用し、セミナーは開催できなかったものの、新たに3名の起業を支 援することができた。 2. ビジネスマッチングによる経済創造 連携から生まれた商品の販売場所として、空きスペースを改修。 地域住民や被災者の手づくり品などの販売を実施している。 3. Asobay!プログラムの充実化 スターカードゲームについては目標100セットに至らず、84セットに 留まった 4. 紙 SNS かわすによる被災者支援及び地域人材と魅力発掘事業の 継続(配布目標は年間 180,000 部を上回る255, 000部を発行した)	登米市を中 心とした、周 辺市町村	5000
②手創り市 で地域内循 環経済づく りPr	目標: 石森いろいろ市場: 年間12回開催 直接経済計算@20千円×30店×12回=約720万円 結果: 市場は昨年3月から全て中止となり、目指す地域内循環経済を 作ることができない結果となった。		10
③地域団体 支援 Pr	NPO法人夢未来南三陸への活動支援活動、石泉ふれあい味噌工 房PRと、地域経済の創出については要望に応じて活動支援、コンサル ティングを実施。年間3回実施	南三陸町 と地域住民 20人	10

事業項目	実施内容	受益対象者の 範囲及び人数	事業費 (千円)
④商品開発・販路開拓 Pr	今年度は「なかまち屋」で販売する、宇宙定規プロとなかまち屋グッズ、かわす缶バッジなどの開発に留まった。		10
⑤遊休資源活用、地域経済創発プロジェクト	工芸品工房やデザイン事務所の継続的な活動場所として空き家、空き施設などを活用。ワークショップなどを通じて地域住民との交流を深めながら販売により、自立支援活動につなげることができている。	南三陸町 関連団体・個人 2 人、関係者 900 人	870

スタディツアー、観光ツーリズムプロジェクトは特に取り組みはありませんでした。

(4) 受託事業

【石森っこサポーターズ】 【石森活性化事業実行委員会】 事務局業務受託

(5) 各事業で連携した個人、団体等 (順不同、敬称略)

1 当法人のプログラムにご協力いただいた市民、住民のみなさま	事業連携
2 ワークショップ、勉強会等でご指導いただいた講師先生	事業連携
3 プログラム実施にご協力いただいた一般ボランティア	事業支援
4 プログラム実施にご協力いただいた高校生ボランティア	事業支援
5 石森地域活性化事業実行委員会	事業連携・共同実施
6 石森小学校	事業連携、共同実施
7 石森っこサポーターズ	事業連携、共同実施
8 石森商店会	事業連携・支援
9 仲町行政区	事業連携・支援
10 蓬田行政区	事業連携・支援
11 加賀野2区行政区	事業連携・支援
12 石ノ森章太郎ふるさと記念館	情報共有、事業協力
13 宮城県佐沼高等学校	事業連携
14 登米市	情報共有
15 登米市教育委員会	事業協力
16 登米市環境課	事業協力、連携
17 登米市環境市民会議	事業協力、連携
18 登米市社会福祉協議会	事業協力・共同開催
19 佐沼天文同好会	事業協力
20 南三陸町・歌津支所	事業協力
21 歌津復興支援の会 一燈	事業連携。運営協力
22 登米南三陸の会	事業連携
23 登米市民活動フォーラム	広報協力
24 宮城県	補助金支援・事業連携
25 株式会社ホテル観洋	事業連携・協力
26 公益財団法人味の素ファンデーション	事業連携・協力
27 甲陽株式会社 Studio, S	事業連携、コンサル、運営支援
28 日本NPOセンター	助成金支援、活動支援
29 DesignStudio一筆	事業連携

30	AstroArts 株式会社	事業協力
31	リアスアーク美術館	事業協力
32	横山不動尊、大徳寺	事業連携
33	株式会社あさの	事業連携・協力
34	みやぎ生協 加賀野店	事業連携
35	みやぎ生協共同購入運営部	事業協力
36	紙かわす掲載者のみなさま	寄稿、広報支援、配布協力
37	紙かわす配布ボランティアの皆様	配布、広告募集協力
38	気仙沼市図書館	配布協力
39	栗原市栗駒地区、築館地区地域おこし効力隊	事業連携、協力
40	宮城芸術文化館	事業連携、協力
41	紙かわす掲載広告スポンサーのみなさま	事業協力、広報

(6) マスコミ掲載記事等一覧

- ① 新聞・行政広報等 なし
- ② テレビ・ラジオ なし
- ③ 冊子・WEBサイト・関係団体等

随時メールマガジン等で発信、WEB サイト改修に伴い、データ更新

2) その他の事業

特になし

II. 事項別状況

1. 登記内容の変更等 《無し》

2. 定款等の変更

- (1) 定款本文及び附則の変更 《無し》
- (2) 規程・規約等 《設置、変更ともになし。》

3. 会員の状況

		正会員数	賛助会員数	計
2020年4月1日現在		12名	46名	58名
年度内の異動	加入者数	0名	8名	8名
	退会者数	2名	5名	6名
2021年3月31日現在		10名	49名	60名

正会員退会の2名は、泉田憲平氏(死亡による)、小川誠氏(死亡による)である。

4. 役員の状況

理事長 小野寺 敏
副理事長 鈴木 武彦
専務理事 伊藤 寿郎
監事 及川 充

5. 会議の開催状況

(1) 総会

①2020年度臨時総会

開催日時 2020(令和2)年4月28日(火)午後1時00分

開催場所 本法人事務所会議室

出席した会員数 9名(本人出席4名、書面議決書5名)

1. 提出議案

第1号議案 当法人運転資金の借入先及び借入金限度額承認の件

② 2020年度(第12期)通常総会

開催日時 2020年5月29日(金) 午後2時から

開催場所 本法人事務所会議室

出席した会員数 9名(本人出席6名、書面決議書出席3名)

1. 提出議案

第1号議案 2019年度(第11期)活動報告書承認の件

第2号議案 2019年度(第11期)活動計算書承認の件(会計監査報告)

第3号議案 2020年度(第12期)活動計画書(案)承認の件

第4号議案 2020年度(第12期)活動予算書(案)承認の件

第5号議案 事業用短期運転資金の借り入れ先及び借入金限度額承認の件

(2) 理事会

① 第1回理事会

日時 2020年4月23日(木) 午後5時から午後7時30分まで

場所 理事長事業所会議室 出席理事 3名

② 第2回理事会

日時 2020年5月30日(土) 午後4時から午後6時まで

場所 理事長事業所会議室 出席理事 3名 監事 1名

③ 第3回理事会

日時 2020年10月1日(木) 午後4時から午後6時まで

場所 本会会議室 出席理事 3名

④ 第4回理事会

日時 2021年 3月 6日(土) 午後2時から午後5時まで

場所 理事長事業所会議室 出席理事 3名

(3) 監査会

日時 2020年5月19日(火) 午後2時から午後4時30分まで

場所 本会事務所

立会い者 理事長 小野寺 敏、副理事長 鈴木武彦、専務理事 伊藤寿郎

監査者 監事 及川 充

監査内容 2019年度事業活動並びに活動計算書及び関連証憑に関する事項